全国港湾２３FAX 第７１号
２０２４年2月２０日
全国港湾書記局

２４港湾春闘情報(１)

２４港湾春闘は２月 14 日(水)に第１回中央港湾団交を開催し要求書を提出した。

組合側は要求趣旨説明にあたり、１月１日に起こった能登半島地震で損傷した港湾施設の修復と港湾労働者の雇用問題ならびに港湾年金の受給確保のための措置を業側に要求書として提出して早急に対応するよう求めた。

そして、趣旨説明の後、組合側より要旨次の点を強調した。

（１）　労働条件整備を行い、魅力ある港湾労働を構築して次代を担う若年港湾労働者の確保を行う時だ。

（２）　緊急課題として検数・検定・関連・専業の労働環境整備するための適正料金確保を強く求める。そして、大幅賃上げに質することが一丁目一番地である。

（３）　特に指定事業体問題では協定不履行を行っている事業者がおり問題解決の進展がない状況で、もはや看過できる状況でなく、解決とならない場合は、相応の対応が必要であることを強く表明した。

（４）　中労委が、日港協の再審査請求を却下し都労委命令を維持したことを重く受け止めるべきだ。これをあらため、きちっと労使交渉に戻すべきだ。

次回、３月１１日１５時００分から行なうことを労使で確認して団交を終了した。２月 19 日現在の単組のとりくみを下記します。

１．各単組の取り組み状況について(2月 19 日現在)

（1）全 港 湾　　1月 30 日～31 日　**第４５回全港湾中央委員会**(派遣＝真島)

3月１日までに要求書の提出し、スト権集約も3月１日までとする。回答指定日３月１１日を第１回回答指定日に基本とし、各地方の集中回答指定ゾーンを３月１１～15 日とする。要求は、基本給一律 30,000 円、大幅賃上げ目指す。初任給 202000 円、定年延長と高齢者雇用対策、労働時間短縮、労災企業補償の引き上げ、女性労働者の権利と労働環境整備、伝染病の休業補償を求める等 10 項目を要求。

（2）日港労連　　1月 31 日～2月１日　**第 69 回日港労連中央委員会**(派遣＝真島)

２月 14 日(水)、第１回港荷労使交渉を行った。賃上げ要求は基準内 20,000、及び物価高騰分 10,000 円を合算して、基準内月額賃金 30,000 円を要求。スト権確立２月末の集約。第２回交渉は、３月 14 日(木)神戸ポートオアシスで開催。

関連交渉は、第一回目、２月２７日(火)要求は、月額３万円。独自課題として、5.9 協定適用実施、産別協議促進、事前協議の作業体制に関連職種を付記する等。

（3）検数労連　　１月 25 日～26 日　**第７５回検数労連中央委員会**

２月 15 日に第１回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を３月 22 日としている。スト権集約は２月 20 日で確立。なお、要求は、本給一律 30,000 円とした。

（4）検定労連　　２月８日～９日　**第 60 回検定労連中央委員会**

要求書提出は、各単組３月１日(金)に提出し、スト権集約は２月 22 日までに行い、３月中旬ごろに第１回団交を設定。なお、賃上げは 10%以上の要求とし、要求項目として、あるべき賃金、時間外算定基礎分母の 143 への引き上げ、完全週休二日制確立、定年を 65 歳にすることを目指す。

（5）　全 倉 運　　１月 23～24 日　**全倉運春闘討論集会**

５%＋αを統一要求基準とし、統一要求提出日は３月１３日(水)、回答指定日を３月 27 日(火)とし、３月 29 日に一次回答を受け拡大中央闘争委員会を開催予定。

（6）　大港労組　　１月 18～19 日　**大港労組春闘討論集会**(派遣＝玉田)

大幅賃金引き上げを目指してたたかう。24 産別春闘課題を踏襲することを確認。２月 16 日の中執では、要求金額３万円を掲げ、２月 27 日に第３回幹事会を開催し、要求書を決定。同日、第１回団交で要求提出。

（7）　全 日 通　　２月９日(金)　第 85 回**全日通中央委員会**

賃金 15,000 円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)５か月分要求日は、２月９日。退職金の増額、生活の維持向上。定昇も含め取り組む。

以　上